

伝統や誇りを 次の世代へつなぐために

鹿角市議会議長 中山 一 男



明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、夢と希望に満ちた爽やかな新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症については、国でもウイズコロナへ政策の舵を切り、徐々にコロナ禍前の生活に戻りつつあるものの、感染症による地域経済への多大な影響に加え、緊迫した世界情勢による急激な物価高騰や約30年ぶりの円安水準更新などにより、国民生活と経済は、いまだに不安要素を抱えている状況にあります。

本市においても、市民生活や地域経済の回復のための各種施策を講じておりますが、市議会といたしましても、引き続き行政とともに、市民生活の安定と福祉向上のため努力してまいります。

一方、昨年は市制施行50年という大きな節目を迎えました。これもひとえに、これまでの鹿角の礎を築いて来られた、先達のたゆまぬ努力と、皆さまのご尽力のたまものであり、心より敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

また、令和3年の「大湯環状列石」の世界文化遺産登録に続き、昨年11月30日に「毛馬内の盆踊」を含む「風流踊」がユネスコ無形文化遺産に登録されたという快挙に、言葉で表すことができない嬉しさと、我がふるさとへの誇りを強く感じたところであります。引き続き、本市の歴史や文化を、次の世代にしっかりと引き継いでいくことができるよう、行政と力を合

わせながら取り組んでまいりますので、関係者や皆さまのご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

さて、令和3年度から向こう10年間の本市のまちづくりの指針となる第7次鹿角市総合計画は、コロナ禍の影響を受けながらも、各種事業が計画的に実施されております。将来都市像「ふるさとを誇り未来を拓くまち 鹿角」を次の世代につなぎ、誰もが生涯にわたり活躍できるまちを目指して、本市が20年、30年と活気あふれるまちであり続けられるよう、市議会といたしましても、全力で取り組む所存であります。

そして、皆さまの声を市政に届ける役割を果たすべく、これまで以上に研さんを重ね、議会の活性化に努めるとともに、「市民が安全に安心して暮らせる活力あるまち」の実現に向けて、議会の使命と責任の重大性を肝に銘じ、まい進してまいります。

結びとなりますが、今年の「干支」と十二支を組み合わせた干支は60年に一度の「癸卯」となり、「寒気が緩み、萌芽を促す年」と言われております。新型コロナウイルス感染症が蔓延して以降、停滞が続いている社会全体に希望が芽吹くことを心から期待しております。

皆さまには、今後とも変わらないご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのご多幸と、本市のさらなる発展を祈念し、年頭の挨拶といたします。

新時代に向かって

鹿角市長 関 厚



明けまして、おめでとうございます。皆さまには、つつがなく良き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、市制施行から50年を迎え、記念式典やさまざまな記念事業を開催し、たくさんの方々と祝うとともに、さらなる飛躍と発展を誓うことができました。

また、3月には、美しいふるさと・鹿角を次世代に継承できるよう、全国に先駆けて、2030年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロを目指し、自然エネルギーに恵まれた本市の特質を将来に生かす「2030ゼロ・カーボンシティ」宣言を行いました。

さらに、11月には「毛馬内の盆踊」を含む「風流踊」がユネスコ無形文化遺産として登録され、保存会の関係者をはじめ、皆さまと喜びを分かち合いました。鹿角市の無形文化遺産登録は、平成21年の「大日堂舞楽」、平成28年の「花輪祭の屋台行事」に次いで3件目となり、素晴らしい伝統文化に恵まれた地域として認められたことは、大変うれしく誇らしい限りです。

一方、8月には、平年の月間総雨量の2倍に相当する豪雨が発生し、JR花輪線をはじめ、甚大な被害が市内の広範囲に及んだことから、関係機関と連携して早期復旧に尽力してまいりました。昨今、想定を超える災害が頻発しており、皆さまの命と暮らしを守るため、引き続き関係機関と連携しながら、災害に強いまちづくりを進

めてまいります。

近年、私たちを取り巻く社会環境は、少子高齢化やエネルギー・環境問題、新型コロナウイルス感染症の拡大など、非常に厳しいものがあります。しかし、本市には十和田八幡平の雄大な自然や温泉、世界文化遺産、ユネスコ無形文化遺産、民話・伝説など、国内外に誇れる伝統・文化といった多様な魅力があります。こうした鹿角特有の資源を磨き上げ、魅力あふれる地域として皆さまが愛着を持ち続けられるよう、未来を切り開き品格と風格であふれる持続性のあるまちにしてまいります。

私は市長就任以来、「いつでも市長室」や「地域づくりミーティング」を通じて、さまざまなご意見、ご提言をいただくとともに、近隣自治体との交流と連携により、未来のまちづくりに向けて種をまいてきました。今年は、現任期の折り返しを迎える年になりますので、芽吹いた政策を育て、着実に花を咲かせたいと考えております。皆さまにお約束した公約である5つのビジョンと、第7次鹿角市総合計画を着実に進めながら、将来都市像「ふるさとを誇り 未来を拓くまち 鹿角」の実現を目指してまいりますので、今後とも、皆さまの市政への積極的な参画をお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆さまにとりまして、健やかで幸せな一年となることを心からお祈り申し上げます。年頭の挨拶といたします。